

会 議 録

会 議 名	小金井市図書館協議会 第3回		
事 務 局	図書館		
開催日時	平成20年2月19日(火)14時00分～		
開催場所	小金井市立図書館 本館 地下集会室		
出席者	委 員	荒井 容子 浦野 知美 兼森 順子 君川 恵子 野垣 成恵 松尾 耕作 松尾 昇治 矢崎 省三 山口 源治郎	
	欠席者		
	事務局	田中図書館長 安居庶務係長 上石主査 三田村主事 川口主事	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 協議事項</p> <p>(1)平成20年度予算(案)について</p> <p>(2)小金井市子ども読書活動推進計画の実施状況について</p> <p>(3)その他</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)市議会12月定例会の報告について</p> <p>(2)その他</p>		

会議結果	
提出資料	<ol style="list-style-type: none">1 平成20年度図書館予算（案）概要版2 「小金井子ども読書活動推進計画」の実施状況3 「図書館運営体制等の見直しについて（答申）」4 「月刊こうみんかん」
その他	

審議経過（主な発言要旨等）

<p>田中館長</p>	<p>皆さんこんにちは。図書館長の田中です。 本日はお忙しい中、平成19年度第3回図書館協議会にご出席いただきましてありがとうございます。 議事に入る前に事務局より図書館協議会委員の辞職について報告させていただきます。 公募委員の選考過程において不手際がありまして、小林委員について解任させていただきました。解任事由は市の関係者を除くという応募要件があったのですが明記されておらず、委嘱後に市の非常勤嘱託職員であることが判明したためです。後任については、時間がないため今年度は欠員とし、新委員には来年度から参加していただきたいと思っております。</p>
<p>矢崎会長 山口委員 田中館長</p>	<p>何か質問はありますか。 市の関係者の定義はありますか。 現在の定義は、正規職員、非常勤嘱託職員、臨時職員です。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>それでは、議題にはいります。平成20年度予算（案）について事務局お願いします。</p>
<p>田中館長</p>	<p>（平成20年度予算（案）説明）</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品の老朽化に対する買い換えの予算措置 ・図書館運営答申のために図書館協議会の回数を増加（3→5） ・市制施行50周年記念事業に係る経費
<p>矢崎会長 松尾昇委員</p>	<p>何か質問はありますか。 ブックポストですがお勧めは耐久性・価格面でステンレスです。特注で大型のものできるのを参考にしてください。</p>
<p>矢崎会長 田中館長</p>	<p>19年度に比べて減額された事業はありますか。 消耗品、光熱水費等形式的に前年比5%減されるもの、車検等経常的な減額、及び継続事業で見積価格の減は除かせていただきますと、対面朗読、録音朗読、録音朗読校正が減っていますが、これはダイジー事業に移行したためです。その他では、大きな減額はありません。</p>
<p>兼森委員 田中館長</p>	<p>エレベーター保守管理委託料が本館より別館の方が多いが。 委託している業者が違うため、さらに別館は遠隔管理も委託内容に含まれているからです。 （本館は改修工事完了後3ヶ月保証期間があるので、残り9ヶ月間を計上したためです。）</p>

浦野委員	図書の購入費はどの項目に該当しますか。
田中館長	予算書の 18 図書標本類の項目です。図書館事業と移動図書館事業の 2 つに分かれていて合わせて 3800 万円です。
矢崎会長	図書費の増減はありますか
田中館長	増減はなく、19 年度と同額です。書架の空きスペースがないので除籍をまずしてから増額を検討したいと思います。
山口委員	除籍と図書費の増額はまた別の問題ですので、事務的に除籍は進めて利用者のニーズに応えるよう図書費増額は努力していただきたいです。
田中館長	現在、買った本を配架するスペースすら少ない状況なのでまず来年度は除籍に力を入れ、その後努力したいと思います。
兼森委員	学校には空きスペースがあるので、最新の本を子どもに提供するためにも学校を利用することもできると思います。図書館のみにとどまらず市のあらゆる施設を利用しようという柔軟な検討をお願いします。
田中館長	学校に提供するためにも、最低限のストック場所は必要となります。現在、そのスペースすらない状況なので、閉架を整理してそのようなスペースを確保したいと考えています。私も一小の空きスペースを利用できたらとは考えています。
兼森委員	それは難しいと思います。というのも、マンションが新たに建っていてむしろスペースを探している状況なので。
浦野委員	一小の図書ボランティアをやっていますが、学校の本はボロボロなので図書館から本をいただけるのであれば、補修してぜひ子どもに提供したいと思いますのでよろしくお願いします。
矢崎会長	図書館なのでぜひ図書費を増やす工夫をお願いします。
	では続いて小金井市子ども読書活動推進計画の実施状況について事務局をお願いします。
三田村主事	(子ども読書活動推進計画の実施状況についての説明)
矢崎会長	何か質問ありますか
君川委員	ブックスタートのボランティアに関わっているが、図書館を知らない親御さんが多いので周知の仕方を検討して欲しい。また、絵本のリストを配っているが本の実物を見て触れる方がより効果的なので、そのような環境を整えて欲しいです。
三田村委員	ブックスタートについては健康課が担っていますが今までは図書館との連携が薄かったところがありました。昨年度から図書館での講座を通じてボランティアとの連携を図っています。今後は積極的に働きかけていきたいと思っています。その際の

野垣委員	本の運搬についても大変との声があるので検討していきたいと思ひます。
	大きき別の絵本の配架方法を研究していただけるとのことですが、今までの説明だと別の方法だと入りきらないと説明を受けてきたがその点どのように考えていますか。
田中館長	また、学校図書館の充足率についてですが、小中学校とも100%になったとのことですが、中身の充実をお願いしたいです。
田中館長	著者別、タイトル別等にすると確かにスペースはとると思ひます。絵本については若干スペースがあるので工夫できると思ひますが、その他については難しいと思ひます。
三田村主事	現状では児童室は落ち着いていますが、学期末になって団体貸出本が返ってくると本が溢れるようになるので、配架方法を変えた場合収容率の低下は避けられないと思ひます。配架の研究については現状も新館も視野に入れて進めていきたいと思ひます。
田中館長	学校図書館の充足率についてですが、ご意見を参考にして担当課に話をしてみたいと思ひます。
三田村主事	担当としましても、学校、PTA、図書補助員と連携して図書館として取り組んでいきたいと思ひます。
山口委員	学校図書館についてですが誰が選んでいるのかというのが大事だと思ひます。経験、力量がある方が配置されているかどうかが問題ですし、週1回の勤務で子どものニーズを把握できるかは疑問です。もう一点配架の方法についてですが、選びやすく魅力的に見える方法があると思ひます。ある図書館では、芸術とスポーツについては児童書と一般書を同じ場所に配架していました。少々スペースは犠牲にするかもしれないですが大きき、著者、タイトル等にとらわれずに魅力的な配架を検討してください。
田中館長	その点は、図書館としても痛切に感じている点でありまして、多少スペースを犠牲にしても、見やすい魅力的な探しやすい配架を検討したいと思ひます。
荒井委員	小金井市内には文庫はどのくらいありますか。
三田村主事	一番大きな団体として7団体所属している「小金井市子ども文庫サークル連絡会」があります。そのほかに3、4団体あります。
荒井委員	その文庫はどのくらい子どもに利用されているか等のデータはありますか。
三田村主事	具体的にはもらっていません。科学専門に活動しているなど、文庫それぞれ活動に特徴を持っています一概に言えない

兼森委員	<p>ところがありますが、今後交流をしていく中で情報交換していきたいと思います。</p> <p>図書館の児童室の改装で 20 年度実施とありますが、具体的には。EV の改修が完了した際にはベビーカーの方が利用しやすいような配慮をお願いします。</p>
田中館長	<p>記入ミスで予定はございません。床のカーペットの修繕は時機を見て予算要求しようと考えていますが、20 年度は実施できません。改修の件はそのように配慮したいと思います。</p>
松尾昇委員	<p>子ども読書活動推進計画の対象範囲ですが、法律では概ね 18 歳までとしていて、各市は 0～18 歳としているところが多いが、文部科学省の基本計画では妊娠期からとなっています。そこで最近では胎児期からの読み聞かせが重要だとの研究もありますので次の計画策定の際は追加を検討してもいいのかなと思います。もう 1 つ、ブックスタート、読み聞かせ等で推進しても小中高と上がるにつれて読書の時間が少なくなっているので、YA（ヤングアダルト）対策を取り入れてもらいたいと思います。そうすれば大人になっても読書が身近になると思います。あと、法律では市全体で子ども読書活動推進計画に取り組みなさいとなっているので、図書館だけでなく全庁的な協力体制の構築をお願いします。</p>
矢崎会長	<p>学校の関係で松尾校長先生何かございますか。</p>
松尾耕委員	<p>学校では子ども読書活動推進計画に基づいて図書補助員が採用されたことは大きいことで、この 3 年間で各学校とも充実はされてきたと思います。学校図書の選書についてですが子ども読書活動の推薦書等を考えながら入れています。しかし、予算の関係上ご指摘の通り蔵書の古さの問題を解決できないのが現状です。図書館は余っているとのことなのでうまくすれば、リサイクルできるのではないかと思います。ただ、各学校立地条件が違いますので図書館を利用できていないのだと思います。また、学校で蔵書検索ができる等環境の整備が必要になると思います。あと、学校図書館の冷房設置の項目で南小学校が出ていますが、その予定はございません。庶務課回答ですが変更になったのだと思います。</p>
三田村主事	<p>YA 対策ですが、インターネット、TV、携帯電話等情報の多い現代で子どもをそれらから引き離すのは難しいのでそれらを利用していかに読書に繋げていくかということを考えています。具体的には今年度のテーマ本で、映画・ドラマになった原作本などの工夫をして展示しました。冷房の設置については確認いたします。</p>
兼森委員	<p>児童書に親しんだ子どもが成長につれて、次に読み進んで欲</p>

松尾耕委員	<p>しいものにかずに、「ハリーポッター」等ファンタジーに留まって先にいかない傾向があります。読んでもらいたい本は読んでいる途中で息切れしてしまうようです。中高生では忍耐をもって自立した読書ができるようになって欲しいと思います。</p> <p>小さい頃は大人が教えて読ませるので小学校ではよく読みますが、基本的に興味がなければ本は読まないですね。自立していないので読めと言われれば読みますが、実際自由に読ませるとファンタジー等好きなものを読みます。また、受験等時間がなく読書から離れたらそのあと高校生になったら戻ってこれられない状況もあります。したがって環境を整えることが必要です。ちなみに南小学校では、昼食中の音楽は流行の曲ではなくクラシックを流しています。子どもの好き好きだけでなく、学校図書室には文学全集を置くような、学校なら学校でしかできないような環境をある程度こちらで整えていかなければならないと思います。</p>
君川委員	<p>子どもの読書推進のために読書感想文ではなく本の帯のコントロールを行なった都内の学校があります。子どもに本を読む喜びを与え、図書館が子どもを取り込んでいくよい例だと思います。小金井でもそのような楽しく読書に興味をもてるような取り組みを検討していただけたらと思います。</p>
三田村主事	<p>昨年から子どもによる本の紹介を児童室に貼り出すなどの取り組みを検討しています。その年齢層を広げることを検討してみたいと思います。</p>
松尾耕委員	<p>各学校でもいいことをやっています、南小学校では「読書郵便」というものをやっています。学年を越えてハガキに絵を描いたりして本の紹介をしています。図書館と学校が蔵書だけの連携ではなく、そのような内容の連携も必要になってくると思います。学校訪問も1年生に限定せずに行なっていただけたらと思います。</p>
野垣委員	<p>学校図書室の1番大きな問題は補助員が週1回勤務であることで、さらに中学校では無人の時は図書室を開かないということです。せつかくの読書環境も活かしきれていないのが現状だと思います。近隣市でも補助員が増える傾向ですので小金井市も増やすようにしていただきたいと思います。</p>
浦野委員	<p>以前は週2回でしたがその頃は学校図書室も充実していましたので、ぜひ増やす方向で検討していただきたいと思います。</p>
兼森委員	<p>子ども読書活動推進計画では国から予算も下りているとのことですが小金井市は色々取り損ねているようなので、市は財政難ですし、今後はそういう情報に敏感になっていただきたい</p>

田中館長	<p>と思います。</p> <p>確かに色々補助金はあるのですがそれは2、3年の短期的なもので、その後は市が負担していくという仕組みになっていまして、なかなか手を挙げにくい事情があります。</p>
兼森委員	<p>地域子ども教室事業は予算をもらって始めて実績をつくって市に認めさせ継続事業となりました。ぜひ、図書館にも腹をくくっていただいて積極的に手を挙げていただきたいと思います。</p>
田中館長	<p>平成20年度で子ども読書活動推進計画が切れてしまいますので、次の計画をつくる際はそのようなご意見も調整させていただいて策定していきたいと思います。</p>
矢崎会長	<p>次に議題の報告事項に移りたいと思います。事務局お願いします。</p>
田中館長	<p>市議会12月定例会について報告させていただきます。図書館関係は一般質問が2件ありました。1つは図書館行政の充実を望む、市民のニーズに对应しているか、開館・閉館時間、高齢者・障害者への対応、電子図書の貸出サービスを新たに検討しないかです。開館・閉館時間については検討中、高齢者・障害者対応は現状を報告しました。電子図書をインターネットで貸し出すサービスについては千代田図書館が始めまして、早速見学に行ってきました。実際に使ってみたところ、手続きも手軽で書込みもでき便利だとは感じましたが、現在出版社が16社でタイトルも3,000タイトルしかなく、希望に沿ったものがないのが現状です。したがって、今後の経過を見て新館開館の際などに、充実したものであったら検討したいと回答しました。</p> <p>市民から求められる図書館の充実ということで次期基本構想に向けた図書館に関する検討について、今後の図書館をどのように考えるのか、当面の図書館の改善について等々ありました。次期基本構想に向けた図書館に関する検討については平成22年度に新館建設の調査研究委託料が1000万予定していますのでそれ以降であり、図書館の希望としては5000㎡以上とお話させていただいています。それに伴って、駅前、複合施設等であるならば開館・閉館時間の延長も検討したいと答えました。今後の図書館のあり方については、現在小金井市立図書館運営方針がありましてそれを守って運営をしていると答えました。図書館民間委託化については現在様々な方法があるので、図書館協議会に諮りつつ慎重に検討したいとしました。選書について市民のニーズを反映できないかには中立公平</p>

野垣委員 田中館長	<p>に行なうのが原則なので、特定の個人の意見を取り入れるのは難しいとし、新館建設の大きな蔵書構成の検討の際は参考にしたいとお答えしました。溢れ出している蔵書の対策についての質問は、現在図書館長協議会で共同利用図書館の検討が進んでおり 50 万冊規模が可能かどうかの調査結果が 3 月末に出る予定ですのでその結果を待ち検討したいとお答えしました。議会報告については以上です。</p> <p>明石図書館視察の感想を教えてください。</p> <p>明石図書館へは行財政改革調査特別委員会の視察で行ってきました。明石図書館は図書館協議会がなく指定管理を導入しています。開館日数、時間については特段多いということはありませんでしたが、人件費については非常に圧縮されていました。</p>
矢崎会長 田中館長	<p>では次に報告事項のその他に移りたいと思います。事務局お願いします。</p> <p>「図書館運営体制等の見直しについて（答申）」の説明をさせていただきたいと思います。平成 16 年に諮問しまして、7 回の審議を経て平成 17 年に答申されています。内容は、図書館の現状に対して、サービス向上のため民間活力の導入、つまり正規職員を減員し非常勤職員を配置するよう求めた内容になっています。向上した点は、本館の夜間開館の水木金曜日の 20 時までの延長、西之台図書室の休館日を水曜日のみに、さらに移動図書館を週 1 回 6 箇所運行になりました。その結果、正規職員は 5 名減員になり、非常勤嘱託職員は現在 23 名になりました。この結びとして図書館サービスが一定程度確保できた時点で、図書館業務のあり方、つまり、委託、NPO、指定管理者等見直す必要があるとしています。したがって、来年度は図書館協議会を 5 回にさせていただき、様々な市民要望に対しての図書館の対応を諮っていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p>
矢崎会長	<p>次に三者懇談会について案内させていただきます。毎年、社会教育委員の会議と公民館運営審議会と図書館協議会の三者で懇談会を開催しています。日程は 3 月 21 日（金）午後 2 時からの開催となりますのでよろしくお願いします。なお、報酬について予算措置しておりませんのでその点ご了承ください。</p> <p>それでは、以上で平成 19 年度第 3 回図書館協議会を終わりにします。なお、次回の図書館協議会は 4 月 24 日（木）18 時から図書館本館地下集会室で開催いたしますのでよろしくお</p>

願います。